

本能寺刀剣展

寺宝刀剣・堀川國廣・河内守藤原國助初二代
河内國平一門



伝森蘭丸所用太刀拵え（江戸時代） 所蔵 法華宗大本山 本能寺

右形…伝森蘭丸所有太刀（陣太刀）
左形…伝森蘭丸所置城氏



脇差 号 銀波 河内國平 写真 大家巧藝社

表写真：伝森蘭丸所用太刀（陣太刀）所蔵 法華宗大本山 本能寺 / 脇差 号 銀波 河内國平

本展覧会では全国各地の職人の手により保存修復を終えた本能寺寺宝刀剣の織田信長所持・森蘭丸所持と伝わる刀、太刀などが修復後初披露となります。また安土桃山時代に京堀川に住した名工國廣とその末弟初代河内守藤原國助と二代河内守國助、河内守小林國助と津田助廣、そして河内國平一門の有志の現代刀を展示します。

「本能寺の変」に代表されるように時の権力者の影響を受けながら、稀有な歴史をたどってきた本能寺。時を同じくして堀川國廣は全国の流浪の旅を終え堀川一条に定住したとされています。その流れを組む河内國平一門の有志が、約400年の時を経て、本能寺と融合します。

日本刀は切るための武器でありながら、人を惹きつける不思議な魅力を持ちます。それは日本刀の放つ光が人知を超えた神秘的な魅力を有したからではないでしょうか。その光を見つめていた多くの歴史上の人々の思いは、人類にとって大きな深い意味を有しなげ美しいという概念が我々に必要なかを問いかけているのかもしれない。時の権力者と職人たち。その伝統は、技術として、また今日文化財として残っています。ながい時の中で、多くの天災やアクシデントを経ながらそれぞれがそれぞれの時代を生き伝え残してきました。

本展では、様々な縁が繋がり残ってきた人間の本能が求める美について感じられるものとなっています。その縁は必然ではないかもしれませんが、それが偶然だとしても、それぞれの時代のなかで残ってきた軌跡を感じられるでしょう。武器としての日本刀の時代があり、美術品としての日本刀の時代を経て、現代を生きる私たちが新たに日本刀にどういう意味を見出すことができるのかを考察します。

本能寺寺宝刀剣 / 堀川國廣 / 津田助廣 / 河内守藤原國助初二代
河内守小林國助 / 河内國平 / 高見太郎國一 / 小宮六郎國天 / 金田七郎國真

関連企画

※詳細は刀剣_merp公式twitterをご覧ください

◆本能寺法要

6月2日〔土〕法華宗 大本山 本能寺
14時00分 法要開始（お焚きあげにて供養） ※参加費無料
※当日、法要ご参加の方全員にオリジナル千社札をプレゼントいたします。

◆本能寺でごめんなさいプロジェクト

本能寺の法要に合わせて、過去の「ごめんなさい」を募集し「裏切りの日」と言われている6月2日の法要時に境内にてお焚きあげの供養をいたします。4月28日〔土〕10:00から6月2日〔土〕11:00まで皆様からの「ごめんなさい」を募集しています。

◆トークショー

河内國平（刀匠・奈良県指定無形文化財保持者）
第一回：5月12日〔土〕13:00～宝物館3階特設会場
第二回：5月26日〔土〕13:00～宝物館3階特設会場
定員：先着50名（12:30会場）
参加費：500円（要観覧券）

◆刀剣鑑賞会「本能寺寺宝刀剣と現代刀に触れてみよう」

講師：河内國平（刀匠・奈良県指定無形文化財保持者）
池永順一（関西大学日本刀文化研究会 副会長）
第一回：5月12日〔土〕17:30～宝物館2階展示会場
第二回：5月26日〔土〕17:30～宝物館2階展示会場
定員：先着30名（17:00会場）
参加費：1,000円（要観覧券・同日のトークショー参加の方は500円割引）
対象：小学生以上（小学生は保護者同伴）

◆銘切実演

開催日：5月12日〔土〕、5月26日〔土〕14:00～宝物館3階特設会場
料金：2,000円（要観覧券）
刀匠が金属プレートにご希望の文字を切ります。（無くなり次第終了）

入館料

一般	700円	修学旅行生	300円
中・高生	500円	身障者	300円
小学生	300円		*30名以上団体割引あり

本能寺大寶殿宝物館

〒604-8091 京都市中京区寺町通御池下ル下本能寺前町 522
TEL 075-231-5335

地下鉄東西線「市役所前駅」すぐ / 京阪「三条駅」西へ徒歩5分
阪急「河原町駅」北へ徒歩10分 / 市バス・京都バス「河原町三条停」下車すぐ